

日本災害看護学会 令和6年能登半島地震災害看護プロジェクト活動報告

報告年月日：2024年8月24日（土）

活動隊員：松田 朋子

1. 活動期間

2024年8月20日（火）8時00分～2024年8月22日（木）14時30分

2. 活動場所

避難所：珠洲市立大谷小中学校（石川県珠洲市大谷町1字78番地）

仮設住宅：正院町第1団地集会所（珠洲市立正院小中学校・石川県珠洲市正院町川尻1部39番地）

旧正院保育所（石川県珠洲市正院町正院を部4）

宝立町第1団地集会所（珠洲市立宝立小中学校・石川県珠洲市宝立町鶺鴒丑部83）

3. 石川県珠洲市の被害状況（8月21日14:00現在 石川県庁情報）

人的被害 死者：122人 うち災害関連死：25人 負傷者：重傷47人、軽症202人

住家被害 建物全壊・半壊・一部損壊：5,519棟 非住家被害：5,938棟

断水解消率：約80%（活動調整会議での情報より）

4. 活動スケジュール

時間	主な活動		
	8月20日(火)	8月21日(水)	8月22日(木)
8:30	8:30～9:00 活動調整	8:30～9:00 活動調整	8:30～9:00 活動調整
9:00		9:00～9:30 正院地区エリア会議	
9:30			
10:00	10:00～12:00		10:00～12:00
10:30	お茶会開催(正院町第1団地:集会場)		お茶会開催(正院町第1団地:集会場)
11:00		11:00～12:45	
11:30		在宅避難社巡回訪問同行	
12:00			
12:30			
13:00		13:00～15:00	
13:30	13:30～15:00	お茶会開催(宝立町第1団地:集会場)	
14:00	お茶会参加(正院町第2団地:旧正院保育所)主催はささえ愛センター)		
14:30			
15:00			
15:30			
16:00	16:00～17:00		
16:30	大谷小中学校避難所巡回		
17:00			
17:30			
18:00			
18:30			
19:00		19:00～20:00	
19:30		復興塾(正院第1団地:集会所)	

5. 活動の実際

n 避難所の状況

【大谷小中学校】8月20日16時ごろ訪問

避難所登録者数 19 名

訪問時、管理者不在であったが、避難者は2名滞在していた。1名は駐在している消防職員とバドミントンをして体を動かしている。もう1名はテレビを見て過ごされていた。滞在していた避難者2名は体調不良なく過ごされているとのことであった。訪問時不在であった他避難者についても確認すると、みな変わりなく過ごしているとのことであった。

n 在宅避難者の状況

【在宅避難者巡回訪問同行】8月21日11時～12時45分

正院地区の巡回へ同行した。

準半壊等で、仮設住宅への入居基準に満たない方から、周囲の住宅が解体や転居で人がいないため、とても寂しいといった声が聞かれた。また、このままここで生活再建して良いのだろうかという不安の声も聞かれていた。

リストにあるお宅を訪問するも誰もおられない住宅や、すでに解体されている住宅が多くあった。また、住宅は解体済みで既に仮設住宅で生活を始めているが、日中は納屋などの片付けに帰ってこられている方もいた。

n 地域コミュニティの状況

【正院町第1団地集会所：いっぶくせん会ね】8月20日および22日10時～12時

参加者は20日（火）が13名、22日（木）が12名であった。

川柳と合唱を行った。

20日（火）は、「珠洲・正院の好きなところ」をテーマに川柳を作成していただいた。自然の豊かさや人の温かさ、被災後の避難所での子どもたちの声や、お茶会のことなどが詠まれていた。ご自身の書かれた川柳について説明していただく中で、被災当時やこれまでの避難生活でのエピソードをいくつかお話しくださった。そのエピソードは喪失に対する悲嘆の表出だけではなく、心温まるエピソードも多く聞かれた。また、現在は土嚢が積み上げられている砂浜について、今後大きな堤防を作るのか、砂浜は綺麗に整備されるのかなど、地域全体の復興に関する疑問も聞かれた。

参加者同士で仮設住宅の状況について話される様子も見られた。夏場は24時間換気の換気扇を全開にしていると外から外気と共に湿気が入ってきてしまい、壁にカビが生えてしまうとのことであった。換気扇の閉め方などの、情報共有がされていた。

22日（木）は、「夏の思い出」と「虫の声」の合唱をしていただいた。支援者に歌のリクエストもあり、音楽を楽しんでおられる様子が見られた。

【宝立町第1団地集会所：お茶会】8月21日13時～15時

参加者は7名であった。

正院と同じく、「夏の思い出」と「虫の声」の合唱を行った。それぞれの歌詞などから、宝立地区の夏の思い出についてお話しいただいた。週末に行われた夏祭りでは、みんなで盆踊りを踊られたというお話をしてくださり、珠洲市のお祭りについて教えていただいた。

【正院町第1団地集会所：第3回復興塾】8月21日19時～20時

オブザーバーとして参加した。参加者は32名であった。

室崎益輝先生より「思いを先に、形は後で」をテーマに講演された。それを受けて、参加住民から質疑応答の中で復興に向けての以下3つの疑問・想いが語られた。

住宅再建に向けた区画整理の考え方や、復興公営住宅の建設場所やデザインに関する希望など、具体的な地域の復興に関する内容。

住民主体で復興を進めていくスピード感や、リーダー像など、先行事例に関する内容。

住民の考える正院地区の魅力と、それを復興に活かすためのアイデアなど、住民の考える復興のイメージに関する内容。

6. 支援活動を通しての所感と課題

お茶会での外部からの支援者に対して、震災当時やこれまでの避難生活についてのお話しをしてくださる場面も多くあった。喪失体験に関するお話しや、大変な中でも心温まったエピソードなど、震災という辛い経験の中からも希望を見出している様子がうかがえた。また、思い出を通して、地域全体の復興についても思いを巡らせる機会となり、どのような正院町にしていきたいのかを考えるきっかけとなっていた。

今回行った川柳のように、あらためて地域の魅力を再確認する作業を通して、住民が主体的に地域の未来図を描き、復興に関わることができるような場を提供していきたい。